

長期ビジョン「100年ブランドの確立」のもと
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に
取り組みます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまと
そのご家族に対して心よりお見舞い申し上げますとともに、感染
拡大防止や治療などにご尽力されている医療関係者の皆さまに
深く敬意を表し、感謝申し上げます。

カワイグループでは、政府、行政機関から発表されます感染症
対策の対処方針に則り、音楽教室、体育教室の生徒・先生の
皆さまをはじめ、お客様、従業員及びそのご家族の感染防止と
安全確保を最優先に必要な対応を図ってまいりました。今後も
冷静に感染拡大防止に努め、必要な対策を講じてまいります。

中期経営計画「Resonate 2021」への取り組み

カワイグループは、長期ビジョン「100年ブランドの確立」
のもと2019年度に第6次中期経営計画「Resonate 2021」
をスタートし、祖業であるピアノづくりでトップブランドを目指し、
各事業の強みを深化させ、お客様満足度の追求・向上と
音楽文化への貢献を通して、企業価値・ブランド力の向上と
持続的な成長に取り組んでいます。

国内では、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域
ユニット体制による営業活動の強化に継続して取り組み、カワイ
ブランドの発信拠点となる店舗を最大限に活用し、『Shigeru
Kawai』など高付加価値商品の販売に取り組みました。

海外では、米国やドイツでの直営店展開を強化し、鍵盤楽器
の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の
強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウ
を活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、ダイナミックな響きの再現を可能にした
響板スピーカーとアップライトピアノのアクションを搭載した
ハイブリッドピアノ『NOVUS NV5』を開発し、2019年10月
に発売しました。また、2020年1月に米国で開催された「2020
NAMM Show」では、グランドピアノの弾き心地を再現した
ハイエンドモデルのデジタルピアノ『CA99』『CA79』を発表し、
当社商品の魅力を世界に発信しました。

今後の国内経済の見通しや世界経済の先行き、当社グループ
を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大に
よる影響により、非常に不透明な状況となっておりますが、お客さま
の満足を第一に、より良い商品・サービスを提供し、皆さまが
快適で豊かな生活環境を実現できるよう努力し、100年ブランド
としての企業価値の向上、長期的な安定成長の実現を目指して
まいります。

※ Resonate (レゾナイト) は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」という意味

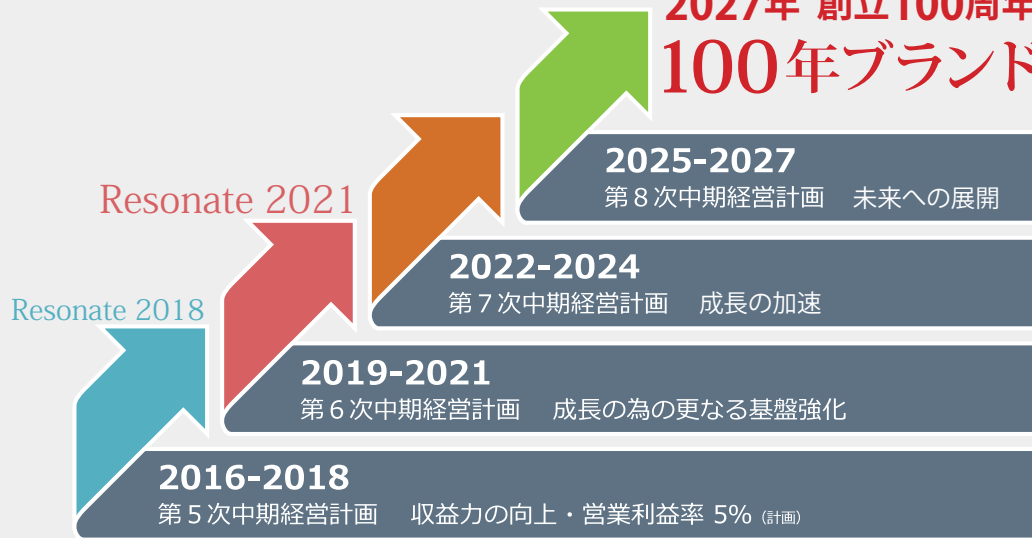
創業の精神の継承と挑戦、竜洋工場 40 周年 『Shigeru Kawai』誕生 20 周年

当社は、日本で最初のピアノ完成に貢献した技術者として
知られる河合小市の「世界一のピアノをつくりたい」という創業
の志のもと、小市を慕う仲間とともに1927年に創立されました。

2代目社長河合滋は、1980年に竜洋工場を建設し、小市の
描いた夢の実現を目指しました。竜洋工場には、四季の自然の
息吹を感じながらピアノづくりに邁進できる「森の中の緑の
工房」という環境、「ピアノは本来一台一台手作りで丹念に作り
込んでいくものである」というピアノづくりの原点を極める
「原器工程」、先端科学技術による研究成果を活かしたピアノ
づくりを目指す「ピアノ研究所」という3つの象徴的な特徴が
あります。そして、その夢は、1999年にグランドピアノの
プレステージ・モデル『Shigeru Kawai』として結実されました。
その誕生から2019年に20周年を迎えましたが、国内外の
著名なピアニスト、音楽関係者から高い評価をいただいている
のは光栄なことです。また、竜洋工場は、3万本の樹木におお
われた緑豊かな工場となり、「森の中の緑の工房」の名に相応
しい工場として本年、竣工40周年を迎えます。

ピアノづくりは時間がかかります。親子代々、数代を経てやっと
完成するような、それほど息の長いものです。いま、その確固
たる創業の精神は、当社の企業活動・価値創造の変わることの
ない原点として、さらなる進化を目指して現在の当社グループに
働く一人ひとりに受け継がれています。

2027年 創立100周年 100年ブランド



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と第6次中期経営計画「Resonate 2021」の位置づけ

音楽文化への貢献と人材の発掘・育成

2019年7月には、次世代を担うピアニストの発掘と育成を目的として創設した「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」の第3回を開催しました。18の国と地域から234名のピアニストがエントリーし、高いレベルの演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。

本コンクールで第1位に輝いたイリヤ・シュムクレルさん(ロシア)には、ピアニストとしてのキャリアを重ねていくためのサポートを継続的に行ってまいります。

今後も、本国際ピアノコンクールを通して次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興に注力してまいります。

人財育成の取り組み

めまぐるしく移り変わる世界情勢と時代に即した組織づくりのためには、これからのカワイを担う「人財」の育成が重要です。そして、一人ひとりが持つ力を十分に発揮できる職場づくりのためのダイバーシティマネジメントやワークライフバランスの推進が、取り組むべき重要な課題と認識しています。

2019年には、女性が輝き続けられる強い企業を目指して女性活躍推進プロジェクト『Love it! (ラビット)』を発足し、活動を開始しました。

また、当社グループで働くすべての人とその家族の心身の健康こそが、経営の理念の「創造性豊かな好感度企業を目指す」ための礎であり、当社グループおよび社会にとっての大切な財産であるという認識のもと『健康経営宣言』を制定しました。そして、従業員とその家族の健康づくりを推進していることが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2020 (大規模法人部門)」に認定されました。

環境への取り組み

優れたピアノをつくるには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛からつくられるフェルトなど、多くの良質な天然素材が欠かせません。豊かな自然環境が保たれること、すなわち地球環境の保全は当社グループの持続的発展に不可欠な要件です。このような基本的な考えのもと、1994年に「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念の推進体制として全社組織の「カワイ地球環境委員会」を設置しました。

そして、グローバルな視野に立った地球環境の保全に配慮した事業活動を推進するために、竜洋工場において1997年に業界で初めて環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得しました。以後、国内・インドネシア・中国の主な生産拠点に ISO14001 を導入してまいりました。その活動の重要課題として、「木材調達ガイドライン」などの方針に基づく責任ある調達、省エネルギーと CO₂ 排出量削減、廃棄物の削減とリサイクル率向上による資源効率と資源循環の向上に注力してまいりました。

インドネシアにおいては、CO₂ 吸収や自然災害防止などを目的に2007年にカワイの森育成会が、PT. カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社と協働で「カワイの森」活動を開始しました。これまでに約550ha、55万本のチークなどの樹木を植林し、さらに2017年からは急速に減少してきたマングローブ林の再生のための植樹も合わせて実施しています。

パリ協定が発効し、SDGs が採択されるなど、国際社会が、持続可能な社会の実現に向けて急速に変化しています。一方では、新型コロナウイルス感染拡大により世界が変容しつつあります。当社グループは、このような社会状況と事業環境の変化を踏まえて、様々な ESG の課題への取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献することにより、皆さまから信頼される企業を目指してまいります。

今後とも、皆さまの一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。